

**平成28年11月10日（木）
15：50～17：20**

【女性活躍（働く女性への支援）】

**科学技術に関する人材の養成・活躍促進
及び理解増進
（ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ）**

文部科学省

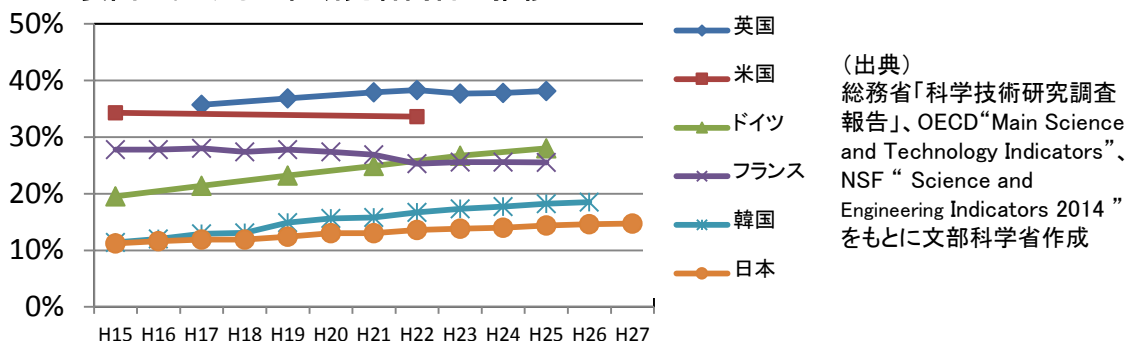
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（概要）

現状認識

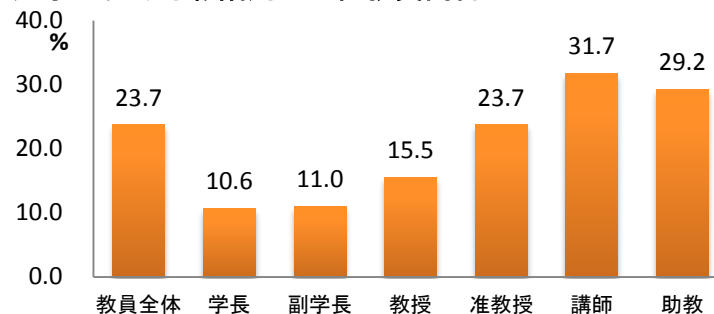
女性研究者の活躍は、**研究者の層を厚くするとともに、多様な視点や優れた発想の取入れにつながり、科学技術イノベーション活動の活性化に寄与。**しかしながら、

- 我が国の女性研究者数は増加傾向にあるが、その割合は、主要国と比較して、なお低い水準。
- 研究者が研究活動を継続する上で、出産・育児・介護等との両立が困難。
- 研究者の業績評価に当たって、育児・介護に対する配慮が不足しているとの指摘。
- 結果として、女性研究者の上位職への登用が進んでいない。

●主要国における女性研究者割合の推移



●大学における職階別の女性教員割合



●科学技術イノベーション総合戦略2016 (平成28年5月閣議決定)

第3章 科学技術イノベーションの基盤的な力の強化

- (1)人材力の強化【重きを置くべき取組】
Ⅱ 人材の多様性確保と流動化の促進
○女性の活躍促進

・科学技術イノベーションへの参入を目指す女性のロールモデルとなるような**女性リーダーの登用を促進するとともに、ワークライフバランスの実現のための支援及び環境整備を行い、女性が継続的に知的プロフェッショナルとして活躍できる環境整備に取り組む。**

事業概要

研究と出産・育児・介護等との両立や女性研究者の研究力向上を通じたリーダー育成を一体的に推進するなど、研究環境のダイバーシティ実現に関する目標・計画を掲げ、優れた取組を実施する大学等を選定し、重点支援。

支援対象等

- 対象機関：大学、国立研究開発法人等
- 支援取組：単一の機関内での部局横断的な取組（特色型）や複数の機関が連携し、地域や分野における女性研究者の活躍を牽引する取組（牽引型）を支援
- 実施期間：6年間（うち補助期間3年間）
※各機関における自立的な運営を確立（国の支援終了後も自己資金で運営）

大学・研究機関における体系的・組織的な取組

【目標・計画の設定】

- ・ 研究環境のダイバーシティ実現のための目標（数値目標）、計画等の設定
- ・ 女性研究者の新規採用や指導的立場における女性割合の数値目標の設定

【研究の継続・復帰】

- ・ ライフイベント中の研究補助者やメンターの配置
- ・ ライフイベント等により研究継続を断念した者等の研究活動の再開・促進の支援
- ・ 研究リーダーにふさわしい研究能力やマネジメント能力等の育成
- ・ 夜間保育、休日保育、病児・病後児保育等の利用に対する支援 等

【支援終了後の継続性】

- ・ マッチングファンド方式などにより、支援終了後の自主的な継続性を担保

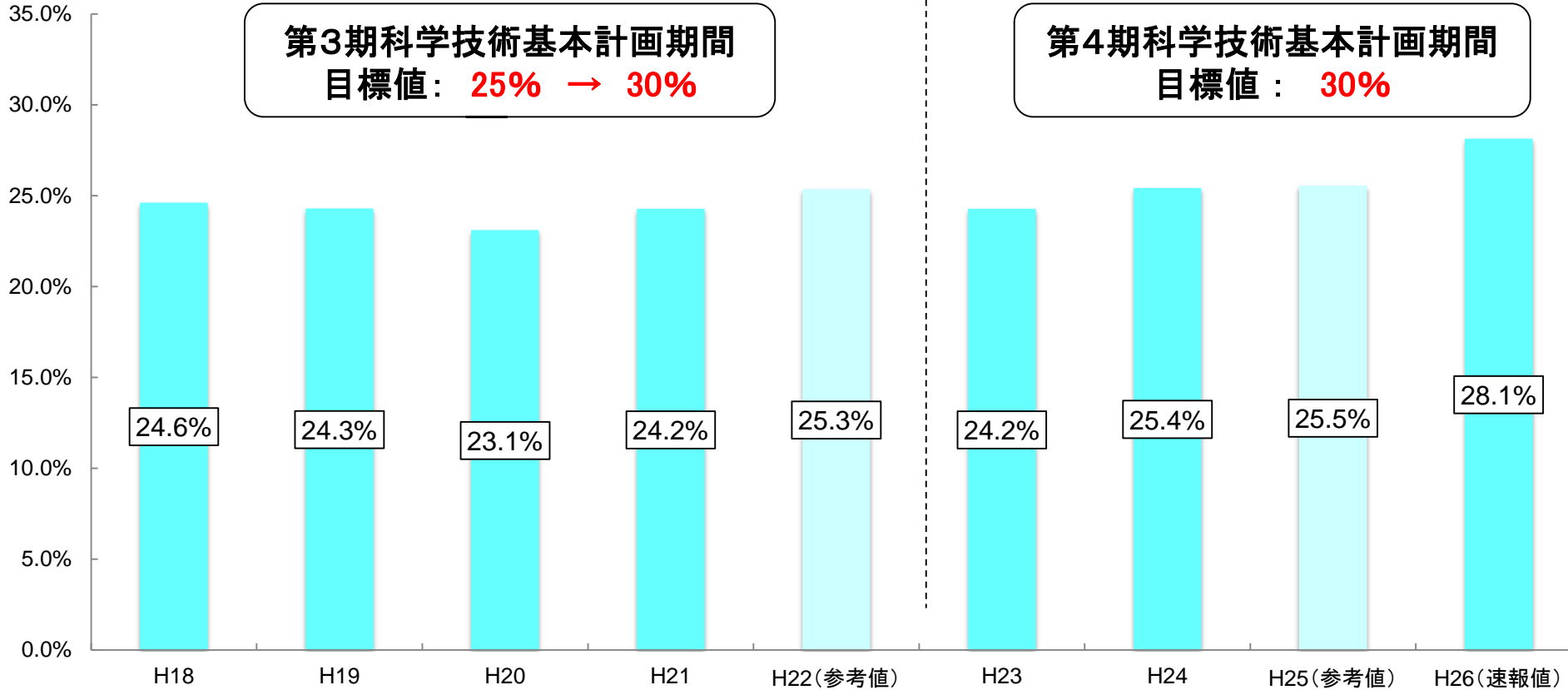
期待される効果

- 女性研究者が途切れることなくキャリアアップを図ることができる環境の整備。女性リーダーの育成・活躍促進。
- 様々な視点を持った研究者が共に研究活動を行う環境が構築され、新たな研究開発成果が生まれることを期待。

「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ」(成果)

成果指標

大学の自然科学系における採用教員に占める女性割合を30%以上に高める。



※第5期科学技術基本計画期間(平成28年度～32年度)も同様の目標値を設定(30%)

出典:文部科学省調べ

※上記の数値は、各年度に大学が採用した常勤教員数(助手を除く)を集計したもの。(H22実績は東日本大震災の影響を考慮し、調査を実施せず。また、H25実績は、調査は実施したものの、上記内容が調査項目に含まれなかった。)

※自然科学系は、理学系、工学系、農学系、保健系の総数。

※H22、H25の数値(参考値)は、「学校教員統計調査」(文部科学省)より抽出・集計。(本務教員(助手を除く)を集計)。